

# POINT ①

スポーツモデルより先に  
目に手に入れるべき時計

# POINT ②

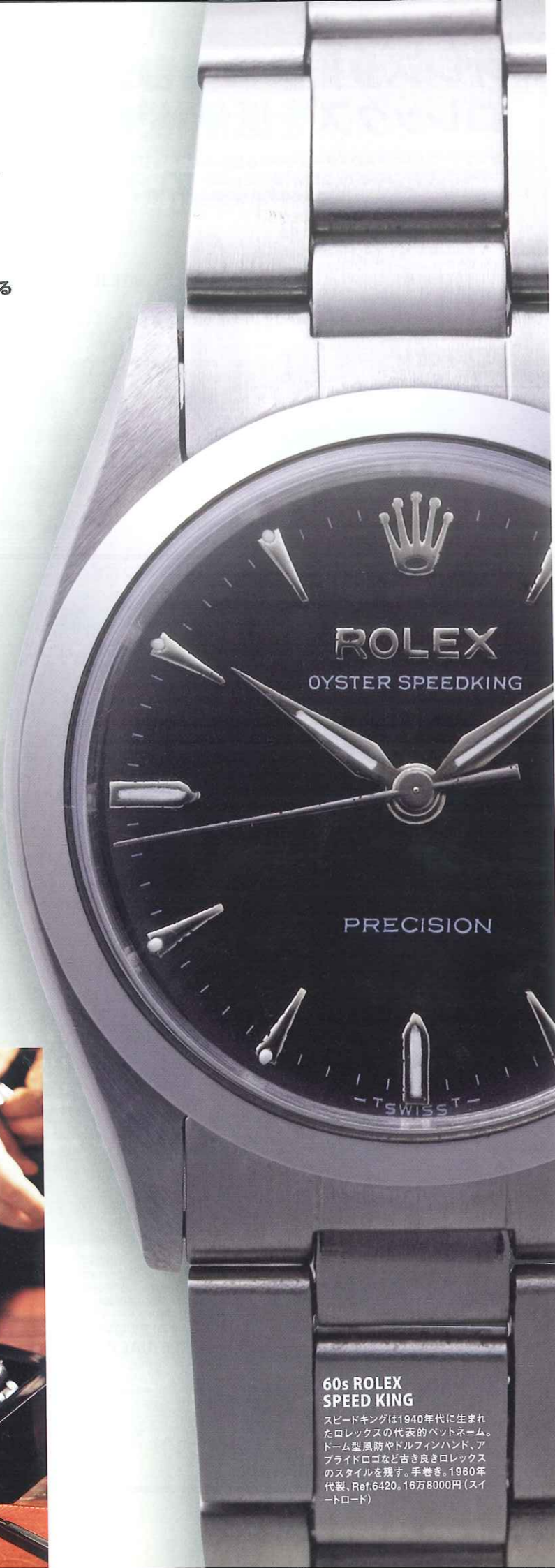
ビジネスにもカジュアルな  
スタイルにもフィットする

# POINT ③

クロレックスでも  
同等の低価格で手に入る

# POINT ④

ケースもケースも一級品  
時計本来の機能性を



60s ROLEX  
SPEED KING

スピードキングは1940年代に生まれ  
たロレックスの代表的なモデル。ア  
ドーム型風防やドルフィンハンド、ア  
ブライドロロなど古き良きロレックス  
のスタイルを残す。手巻き。1960年  
代製、Ref.6420。16万8000円（スイ  
ートロード）

To Be  
**RUGGED  
MAN**  
21/55

## 2本目の時計って何が、基準ですか？

身体に身に付けるものの中でも、最も価格の高低差があるのが時計だろう。時間を知らずという同じ機能を果たすものでありながら、数千円で買えるものから、数百万を超えるものまであるものだから驚かされた。そこには性能の差、ブランドの差、等々の付加価値の差が当然あるのだが、あまりの奥深さゆえ購入の判断基準に迷いがちだ。雑誌読者の方々の場合、まず1本目に欲しいのはやはり一流メーカーのアンティークスポートモデルではないだろうか？果たしてその選択は正しいのか？あるいはスポーツモデルを手に入れた次の2本目は何を揃へばいいのか？その基準を検証しよう。

### NEXT WATCH

text by Masahiro Ando, Tetsu Takasuka /  
photo by Toyooki Masuda, Takeshi Kimura



FEPR

# BENRUS

SINCE 1922

ベンラスが切り拓く軍用時計のタイムレスな美学

堅牢にして機能美にも溢れる軍用時計は、腕時計の進化史においても多大な功績を残してきた。軍用時計がもっとも発展したのは第二次世界大戦時代。時をもって部隊を統率する重要なミッションツールと化したことで、精度は顕著に磨きあげられていく。世界中の時計メーカーがこぞって軍用時計の生産に乗り出す中、兵士の厚い信頼を獲得したのが、高い技術力をもとに実用性を追求する完全防水時計を開発した「ベンラス ウォッチ」だった。「ベンラス ウォッチ」は1922年、ベンラス3兄弟によってスイス・レマン湖畔に誕生した新興ブランドであったが、抜群の精度とデザイン哲学でめきめきを頭角を表す。世界の航空パイロット用オフィシャルウォッチとして名を馳せると、第二次世界大戦からベトナム戦争時代はアメリカ陸海軍が制式採用。後に陸軍特殊部隊グリーンベラーにも使用された栄光の歴史を誇る。アメリカでは伝説のミリタリーウォッチとなったベンラスだが、現代でも軍用時計で培った技巧性を礎に、暗闇を克服し十分な視認性を確保するマイクロガスチューブ搭載の新作モデルを製作する。ミリタリーウォッチのクラシックな意匠へNATO軍のナイロン通しベルトを装着したシリーズなど、タフネスなコレクションが堂々と居並ぶ。ベンラスの伝説は時を超え、新たな章が時を刻み初めている。

右・中央/BENRUS プラスチックウォッチ  
#763シリーズ。アメリカ国防省の要請でベ  
ンラスが開発した丈夫で軽い究極の野戦リス  
トウォッチ。当時のテストをそのままに復刻した。  
BLACK/OLIVE: ¥10,500

左/BENRUS TYPE I。ベトナム戦争中に  
アメリカ陸海軍で採用され、グリーンベラーな  
ども使われたモデルを忠実に復刻。インデッ  
クスにスーパーлюмиナ、時分針にトリチウム  
ガスライトを搭載するなど最新テクノロジーを  
取り入れた本格的な1本。¥29,400

### マルマンプロダクツ

#### 東京本社

東京都台東区三ノ輪一丁目28-10  
☎03-5808-0711

<http://www.maruman-products.co.jp/>